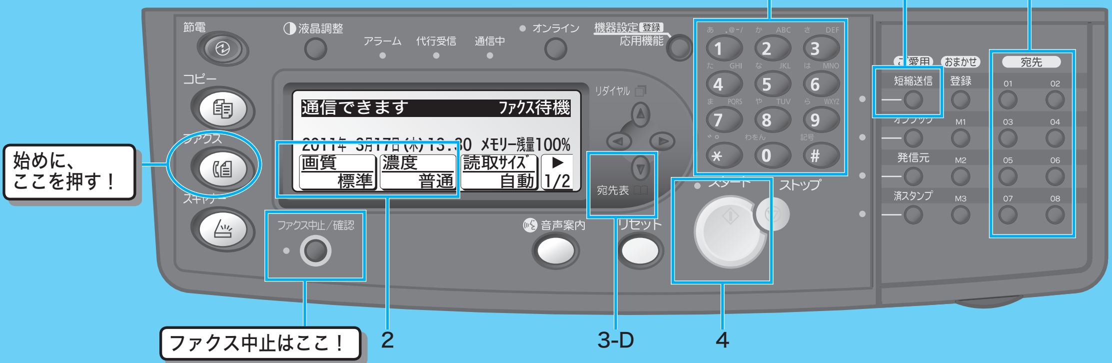
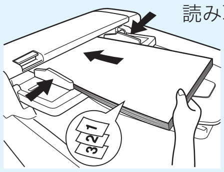
送信のしかた

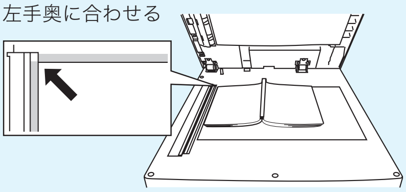
（本体取説 3-5 ページ）

ここで使うキー



1 原稿をセットする





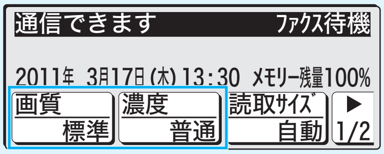
自動原稿送り装置

(1) 原稿ガイドを原稿の幅に合わせます。
(2) 読み取る面を上にして、原稿の先があたるまで、軽く差し込みます。

ガラス面

(1) 原稿押さえカバーを開けます。
(2) 読み取る面を下にして、左手奥に合わせてセットします。
(3) 原稿押さえカバーを閉めて、ガラス面に密着させます。

2 画質・濃度をセットする



画質

(1) ［画質］を押します。
(2) カーソルキー（▲、▼、◀、▶）で希望する画質を選択します。
(3) ［確定］を押します。

濃度

(1) ［濃度］を押します。
(2) カーソルキー（▲、▼、◀、▶）で希望する濃度を選択します。
(3) ［確定］を押します。

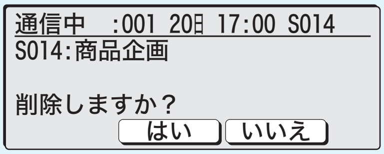
ファクスの中止のしかた

（本体取説 3-22 ページ）

1 〈ファクス中止／確認〉を押す



2 以下の表示の場合は、［はい］を押すと通信を中止する



・「同報送信」「グループ送信」の通信文書を削除した場合は、全ての同報宛先が削除されます。通信中の同報送信は、［詳細一覧］を押すと宛先を個別に削除することができます。（本体取説 3-24 ページ）

2 ページ

3 相手先のファクス番号を指定する

A. 直接ダイヤルで指定する



ﾀﾞｲﾔﾙ番号を入力ください
1234567890_
ﾌﾟﾚﾌｨｸｽ:0000
[クリア] [取り消し] [確定] [▶]

(1) テンキーで相手先のファクス番号を入力します。
- 番号は 40 桁まで入力できます。
- ダイヤル記号を入力することができます。(本体取説 3-16 ページ)

(2) [確定] を押します。

B. ワンタッチキーで指定する



通信できます　ﾌｧｸｽ待機
S001:京都支店:07566128641
2011年 3月17日(木) 13:30 ﾒﾓﾘｰ残量100%
宛先確認で同報を確認できます [宛先確認] [▶ 1/3]

ワンタッチキーの 01 ～ 68 は、短縮ダイヤルの 001 ～ 068 と対応しています。例えば、短縮ダイヤル 002 に相手先を登録した場合、ワンタッチキーの 02 を押しても同じ相手先を指定できます。

C. 短縮ダイヤルで指定する



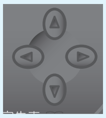


短縮番号 (001-200)
番号を入力してください
S085:北陸支店
[クリア] [閉じる] [確定] [▶]

(1)〈短縮送信〉を押します。
(2) テンキーで短縮番号を入力します。
(3) [確定] を押します。

D. 宛先表で指定する（本体取説 3-6 ページ）





宛先表　[日本語]　◀2/2▶
か行:開発一課
か行:京都支店
か行:技術管理室
[クリア] [閉じる] [選択] [▶]

(1)〈宛先表〉を押します。
(2) カーソルキー (、 、 、) で相手先を探します。
(3) [選択] を押します。
- 複数の相手先を選択できます。
- 選択された相手先にはチェックが付きます。
- 選択を取り消すには [クリア] を押します。

(4) [閉じる] を押します。

補　足

ワンタッチキー・短縮ダイヤル・宛先表を使用する場合は、あらかじめ短縮ダイヤルの登録が必要です。(本紙 3ページまたは本体取説 7-3ページ)

4 〈スタート〉を押す



- メモリーオーバーしたとき（本体取説 3-4 ページ）
- 原稿サイズが検出できないとき（本体取説 3-3 ページ）

補　足

ガラス面からの送信で 2 枚目以降の原稿があるときは、1 枚目読み取り後、原稿をセットして［読取開始］を押してください。すべての原稿の読み取り終了後、[送信開始] を押してください。

次の原稿をｾｯﾄしてください
京都支店
A4 標準 P001　ﾒﾓﾘｰ残量 95%
[送信証 OFF] [読取開始] [送信開始] [▶ 1/3]

1 ページ

3 以下の表示の場合は、[確定] を押す

ﾌｧｸｽ中止/確認
通信予約表示
履歴
[閉じる] [確定]

通信中の文書がない場合は、「通信予約表示」を選択し［確定］を押します。

4 カーソルキー (、 、 、) で中止したい通信文書を選択し、[削除] を押す

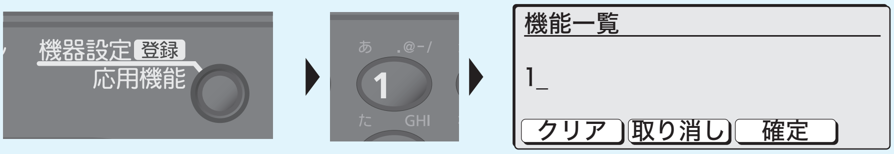
通信予約表示　◀1/2▶
通信予約:001 17日 17:00 S001
通信予約:002 20日 09:00 S014
通信予約:003 22日 13:30 S003 ▼
[閉じる] [削除]

手順 2 の表示になります。[はい]を押すと通信を中止します。
- 現在通信中の文書は一番初めに表示します。(「通信中」と表示されています。)
- 通信予約文書は時刻順に表示します。画面を切り替えるにはカーソルキーを押します。
- グループ送信は「G」、同報送信は「同報」と表示されます。

短縮ダイヤルの登録　（本体取説 7-3 ページ）

短縮ダイヤルを登録する

1 〈機器設定／登録〉、〈1〉、［確定］と押す



2 登録したい短縮番号を選択する



(1) カーソルキー（▲、▼、◀、▶）で登録したい短縮番号を選択します。
(2)［編集］を押します。

- 画面を切り替えるには、カーソルキーを押します。
- テンキーで短縮番号を入力して選択することもできます。

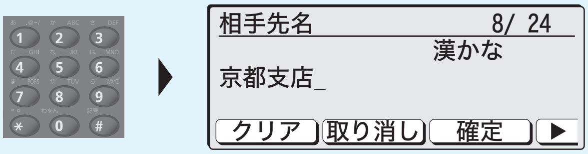
3 テンキーで相手先番号を入力する



(1) テンキーで相手先番号を入力します。
(2)［確定］を押します。

- 40 桁まで登録できます。
- ダイヤル記号を登録できます。（本体取説 3-16 ページ）

4 相手先名を入力する



(1)「相手先名」が選択されていることを確認し、［編集］を押します。
(2) テンキーで相手先名を入力します。
(3)［確定］を押します。

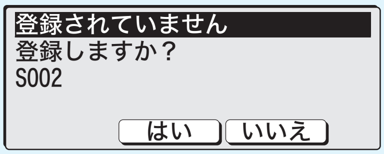
- 半角 24（全角 12）文字まで登録できます。
- 文字入力のしかたは、本体取説 1-26 ページを参照ください。

便利な登録方法 1　（本体取説 7-6 ページ）

1 未登録のワンタッチキーを押す



2 登録する場合は［はい］を押す

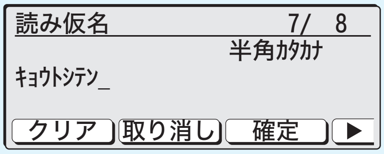


3 以降の操作は、上記手順 3 ～ 7 と同じ

5 読み仮名を入力する

相手先名を入力すると、読み仮名は自動的に入力されます。変更しない場合は手順6に進みます。





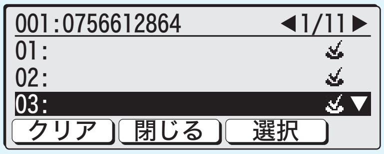
(1)「読み仮名」が選択されていることを確認し、［編集］を押します。
(2) 読み仮名を入力します。
(3)［確定］を押します。

・ 半角カタカナ・英数にて 8 文字まで登録できます。
・ 文字入力のしかたは、本体取説 1-26 ページを参照ください。

グループ No、スーパー G3 の設定は、必要に応じて行います。

6 グループ番号を選択する





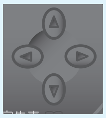
(1)「グループ No」が選択されていることを確認し、［編集］を押します。
(2) カーソルキー（▲、▼、◀、▶）で選択したいグループ番号を選択し、［選択］を押します。
(3)［閉じる］を押します。

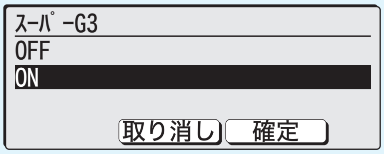
・ 複数のグループ（最大 32 個）を登録することができます。
・ 選択を解除するには［クリア］を押します。

補　足

グループに名称を付けることができます。（本体取説 7-13 ページ）

7 スーパー G3 を設定する





(1)「スーパー G3」が選択されていることを確認し、［編集］を押します。
(2) スーパー G3 を使用する場合は、カーソルキー（▲、▼、◀、▶）で「ON」を選択します。
(3)［確定］を押します。

8 続けて他の短縮ダイヤルを登録する場合は、［閉じる］を押し、手順 2 から操作を繰り返す

〈リセット〉を押すと、待機画面に戻ります。

便利な登録方法２

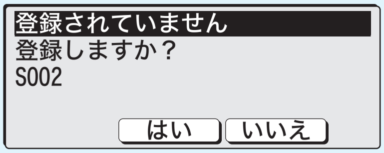
(本体取説 7-7 ページ)

1 テンキーで相手先番号を入力する

2 [▶]、[短縮登録］を押す



3 登録する場合は［はい］を押す

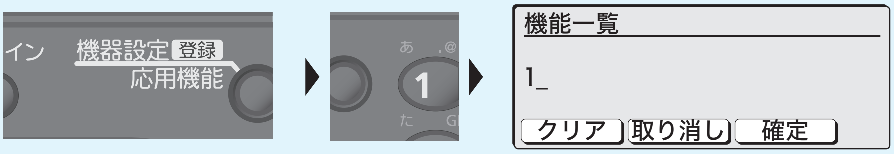


4 以降の操作は、上記手順４～７と同じ

短縮ダイヤルを削除する

（本体取説 7-7 ページ）

1 〈機器設定／登録〉、〈1〉、［確定］と押す



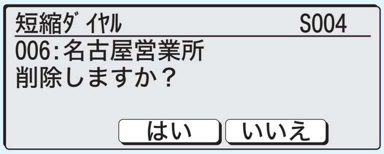
2 削除したい短縮番号を選択する



(1) カーソルキー（▲、▼、◀、▶）で登録したい短縮番号を選択します。
(2) ［削除］を押します。

- テンキーで短縮番号を入力して選択することもできます。
- 送信中もしくは送信予約中の文書宛先に含まれている短縮ダイヤル、F コード中継ボックス、ファクスワープで使用中の短縮ダイヤルは選択できません。（本体取説 7-10 ページ）

3 削除する場合は、［はい］を押す



［いいえ］を押した場合は削除されず、手順 2 に戻ります。

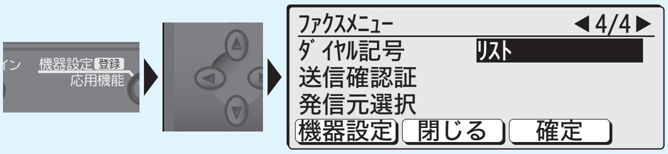
4 続けて削除を行う場合は、手順 2、3 を繰り返す

〈リセット〉を押すと、待機画面に戻ります。

短縮ダイヤルリストを印字する

（本体取説 7-11 ページ）

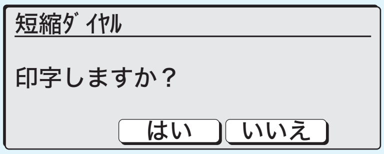
1 〈応用機能〉を押し、カーソルキー（▲、▼、◀、▶）で「リスト」を選択後、［確定］を押す



- または、ワンタッチキーパネルをめくり、〈リスト〉を押します。

2 「短縮ダイヤル」が選択されていることを確認し、［確定］を押す

3 ［はい］を押す

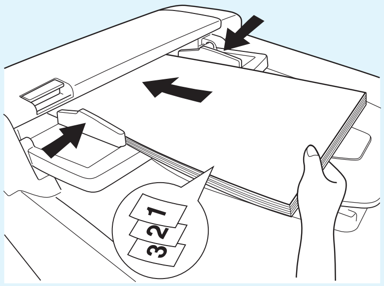


コピーのしかた　(本体取説 2-5 ページ)

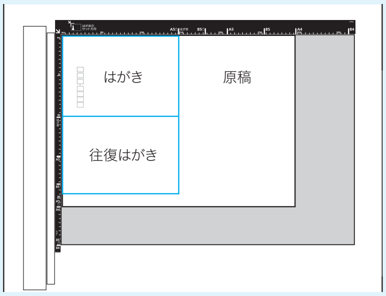
ここで使うキー



1 原稿をセットする



読み取る面を上に



読み取る面を下にして､左手奥に合わせる

自動原稿送り装置

(1) 原稿ガイドを原稿の幅に合わせます。

(2) 読み取る面を上にして、原稿の先があたるまで、軽く差し込みます。

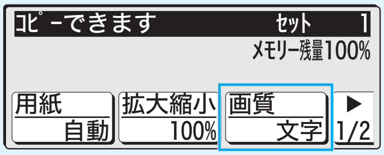
ガラス面

(1) 原稿押さえカバーを開けます。

(2) 読み取る面を下にして、左手奥に合わせてセットします。

(3) 原稿押さえカバーを閉めて、ガラス面に密着させます。

2 必要に応じて画質・濃度をセットする





画質

(1) [画質] を押します。

(2) カーソルキー (、 、 、) で希望する画質を選択します。

(3) [確定] を押します。

濃度

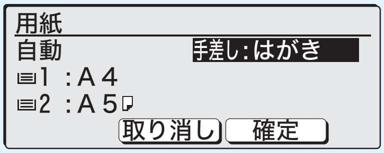
(1) [▶]、[濃度] と押します。

(2) カーソルキー (、 、 、) で希望する濃度を選択します。

(3) [確定] を押します。

3 用紙を選択する場合は、［用紙］を押してコピーする用紙を設定する

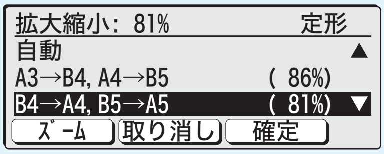




(1)［用紙］を押します。
(2) カーソルキー（▲、▼、◀、▶）で使用する用紙を選択します。
(3)［確定］を押します。

4 拡大縮小を行う場合は、［拡大縮小］を押して倍率を設定する

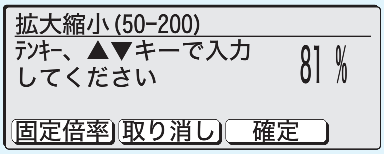




(1)［拡大縮小］を押します。
(2) カーソルキー（▲、▼、◀、▶）で倍率を選択します。
(3)［確定］を押します。

細かく倍率を指定したい場合は、さらに［ズーム］を押す

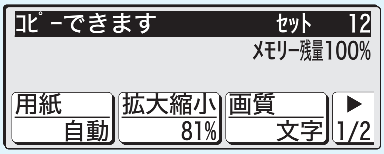




(1)［ズーム］を押します。
(2) テンキーまたはカーソルキーの上下（▲、▼）で倍率を入力します。
(3)［確定］を押します。

5 テンキーでコピー部数を入力する





1 ～ 99 部まで入力できます。

6 〈スタート〉を押します。

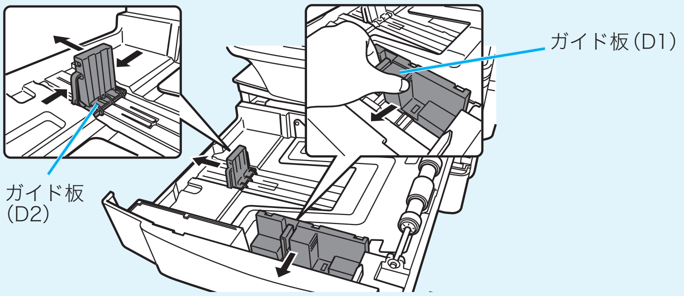


・ メモリーオーバーしたとき（本体取説 2-3 ページ）
・ 原稿サイズが検出できないとき（本体取説 2-2 ページ）

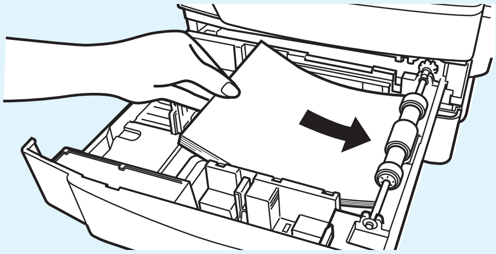
用紙をカセット・手差しトレイにセットする　（本体取説 1-56 ページ）

用紙をカセットにセットする

1 カセットを引き出し、ガイド板（D1、D2）を用紙のサイズより広げる

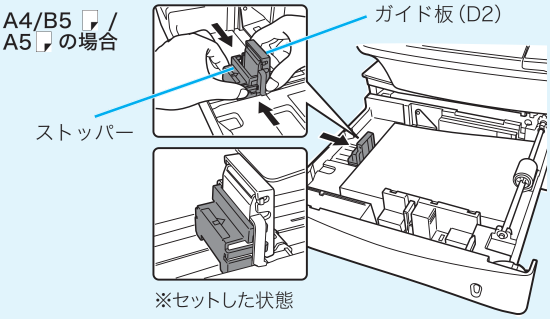


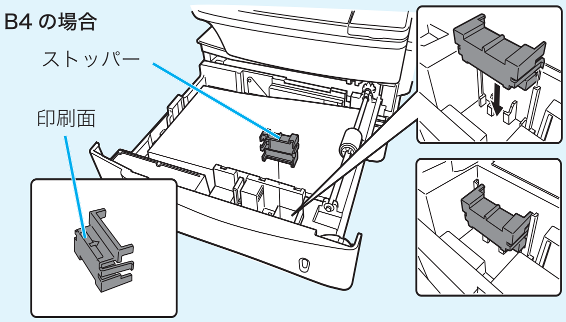
2 底板を“カチッ”と音がするまで押し下げ､印刷したい面を下向きにして用紙をセットする



3 ガイド板（D1、D2）を用紙サイズに合わせる

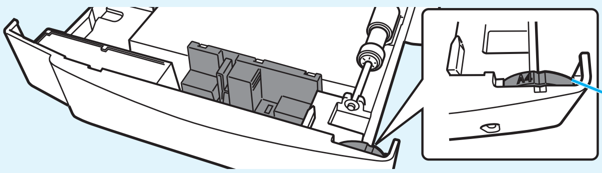
4 A4/B5 /A5 用紙をセットする場合は、ストッパーをガイド板（D2）に差し込む
B4 用紙をセットする場合は、ストッパーをカセットの溝にそって収納する





ガイド板は確実に溝にセットしてください。

5 用紙サイズダイヤルを回して、セットした用紙のサイズを上側に表示させる



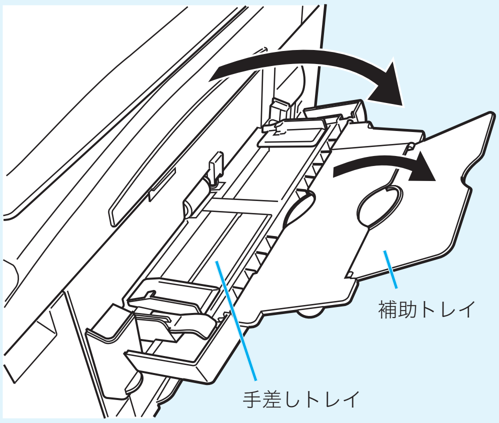
用紙サイズダイヤルの溝とカセット側の溝とを合わせてください。

用紙サイズダイヤル

6 カセットを閉じ、セットした用紙のサイズに合わせて用紙サイズラベルをカセットに貼る

用紙を手差しトレイにセットする

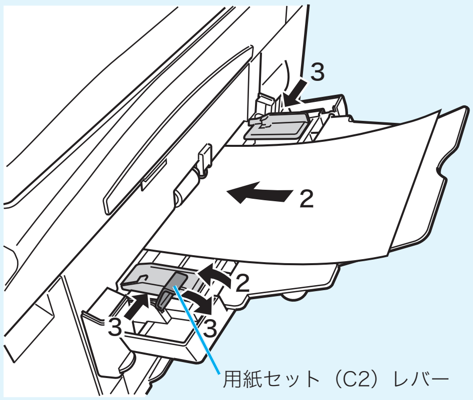
1 手差しトレイを開く

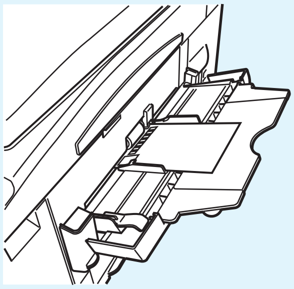


手差しトレイより大きなサイズの用紙をセットする場合は、補助トレイを開きます。

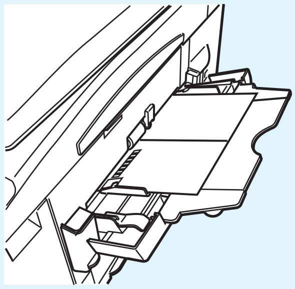
2 用紙セット（C2）レバーを引き上げ、印刷する面を上にして用紙の先端を奥まで差し込む

3 用紙ガイドを用紙サイズに合わせ、用紙セット（C2）レバーを下げる





はがき



往復はがき

4 用紙がセットされると、手差しトレイの設定画面が表示される

手差しに用紙がセットされました
現在の設定でよろしいですか
用紙サイズ　：Ａ４
用紙種類　　：普通紙
［はい］［いいえ］

現在設定されている用紙サイズ・用紙種類が表示されます。

5 表示された設定で良い場合は［はい］を押す。設定を変更する場合は［いいえ］を押し、次の手順に進む

6 「用紙サイズ」が選択されていることを確認し、[編集] を押す

手差し用紙設定
用紙サイズ：A 4
用紙種類　：普通紙
[閉じる] [編集]

7 カーソルキー (▲、▼、◀、▶) で用紙サイズを選択し、[確定] を押す



手差し用紙設定　◀1/2▶

A4	B5	はがき
B4	A5	往復はがき
A5	B5	不定形1

[取り消し] [確定]

不定形を選んだ場合はサイズを設定します。

8 カーソルキー (▲、▼、◀、▶) で「用紙種類」を選択し、[編集] を押す



手差し用紙設定
用紙サイズ：A 5
用紙種類　：普通紙
[閉じる] [編集]

- 用紙種類を変更する必要がない場合は、[閉じる] を押して操作を終了します。
- 用紙サイズに「はがき」または「往復はがき」を設定した場合は、自動的に「はがき」に設定されます。
- 用紙種類に「普通紙」以外を設定している場合、A・B 系、不定形のサイズを設定すると、自動的に「普通紙」に設定されます。

9 カーソルキー (▲、▼、◀、▶) で用紙種類を選択し、[確定] を押す



用紙種類

普通紙	はがき
厚紙	封筒
OHP	

[取り消し] [確定]

待機表示に戻ります。

補　足

不定形用紙のサイズ設定

テンキーで、原稿の横または縦のサイズを入力します。

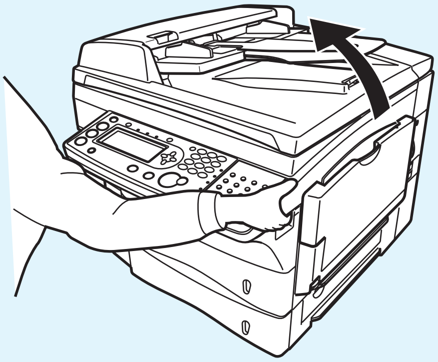
カーソルキーの上下 (▲、▼) を押すと、横サイズ (↔) または縦サイズ (↕) の入力位置に移動します。入力後、[確定] を押します。

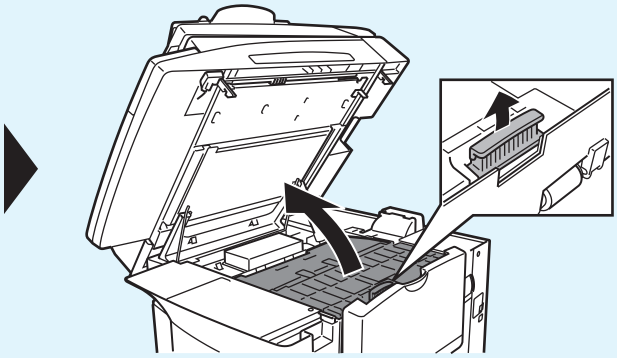
不定形2サイズ設定
↕ 120 mm (90-257)
↔ 256 mm (140-364)
[閉じる] [確定]

用紙がつまったとき　(本体取説 8-14 ページ)

⚠ **注意** 定着器には触れないように注意してください。
● 用紙が途中でやぶれないように注意してください。

1 トップカバーを開け、プリンターカバーを開ける



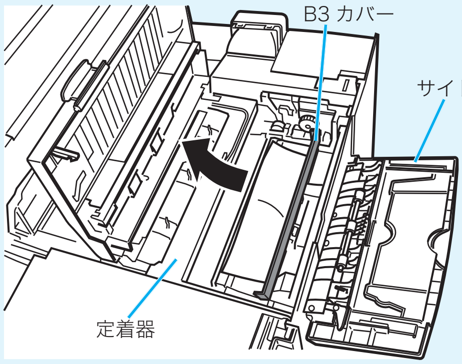


2 ドラム、トナーカートリッジを取り外す

3 プリンター内部の B3 カバーを開ける

4 サイドカバー解除（C1）レバーを引いてサイドカバーを開ける

5 つまっている用紙をゆっくりと引き抜く



・用紙を取り除いた後、B3 カバー、サイドカバーを閉めます。
・取り除きにくい場合は、排出口側から引き抜きます。
・用紙が見えない場合は、排出口と定着ローラーの間に紙がつまっていないか確認してください。

6 ドラム、トナーカートリッジを本体に取り付ける

7 プリンターカバー、トップカバーの順に閉める

補　足

・ ドラム、トナーカートリッジを取り外した後は、光が当たらないように紙や布でおおってください。
・ ドラム、トナーカートリッジを取り付けるときは、カートリッジの矢印と本体の矢印が合うように取り付けます。
・ カバーを閉めるときは“カチッ”と音がするまで確実に閉めてください。

登録・操作のしかた

機能	操作方法	本体取説参照ページ
時刻の設定	〈機器設定／登録〉→テンキー〈9〉→［確定］→「現在時刻」を選択→［確定］→テンキーで時刻を入力→［確定］	1-47
受信モードの設定	〈機器設定／登録〉→テンキー〈9〉→［確定］→「ファクス受信モード」を選択→［確定］→受信モードを選択→［確定］	1-48
ダイヤル種別の設定	〈機器設定／登録〉→テンキー〈9〉→［確定］→「ダイヤル種別」を選択→［確定］→ダイヤル種別 (プッシュ、ダイヤル 10、ダイヤル 20) を選択→［確定］	1-48
発信元名の設定	〈機器設定／登録〉→テンキー〈9〉→［確定］→「発信元名登録／変更」を選択→［確定］→設定したい発信元名を選択→［確定］→登録済みの場合は［編集］→発信元名を入力する→［確定］→「カナ ID」を選択→［編集］→カナ ID を入力する→［確定］→［閉じる］	1-50
発信元名の選択	ワンタッチキーパネルをめくる→ご愛用の〈発信元選択〉→カーソルキーで発信元名を選択→［確定］	3-19
発信元名を一時消す	ご愛用の〈発信元〉を押してランプを消す	3-20
送信確認証の印字	ワンタッチキーパネルをめくる→ご愛用の〈送信確認証〉を押してランプを付ける	3-43
通信管理レポートの印字	〈機器設定／登録〉→テンキー〈1〉、〈0〉、〈0〉、〈3〉→［確定］→印字したい通信管理レポートを選択→［確定］→［はい］	3-39
短縮ダイヤルリストの印字	〈機器設定／登録〉→テンキー〈1〉、〈0〉→［確定］→［はい］	7-11
音の設定	〈機器設定／登録〉→テンキー〈7〉、〈0〉、〈7〉→［確定］→設定したい音を選択→［確定］→設定する→［確定］	7-33
ボリュームの調整	〈オンフック〉または受話器を上げる→［ボリューム］→カーソルキーで音量を調整する→［確定］	3-12

Printed in Japan 2011-04
DB5-90310-60